

平成23年 結果の概況

目 次

I 品目別支出の状況

| | |
|---------------------------------|----|
| 1 東日本大震災による影響が見られた品目 | |
| (1) 宿泊料 | 1 |
| (2) パック旅行費（国内） | 3 |
| (3) パック旅行費（外国） | 5 |
| 2 地上デジタルテレビ放送への移行に関する品目 | |
| (1) テレビ | 7 |
| (2) デジタル放送チューナー・アンテナ | 9 |
| (3) ビデオデッキ（DVDレコーダー・プレーヤーなどを含む） | 11 |
| 3 エコポイント対象商品が含まれる品目（テレビを除く） | |
| (1) エアコンディショナ | 13 |
| (2) 冷蔵庫 | 15 |

II インターネットを利用した支出の状況

| | |
|---|----|
| 1 概要 | |
| インターネットを利用した支出総額は9年連続の増加 | 17 |
| 2 世帯主の年齢階級別 | |
| インターネットを利用した支出総額が最も多いのは30～39歳の世帯 | 18 |
| 3 世帯主の勤めか自営かの別 | |
| インターネットを利用した支出総額が最も多いのは会社などの役員の世帯 | 19 |
| 4 年間収入階級別 | |
| 年間収入階級1250万円以上の世帯ではインターネットを利用した支出総額は10,000円を超える | 20 |
| 5 世帯人員別 | |
| インターネットを利用した支出総額が最も多いのは世帯人員が5人の世帯 | 21 |

Ⅲ 電子マネーの保有・利用状況

1 概要

- (1) 電子マネーの保有割合が最も高いのは関東地方 22
- (2) 電子マネーの利用回数が最も多いのは交通機関（定期券としての利用は除く） 23

2 世帯主の年齢階級別

- (1) 電子マネーの保有割合が最も高いのは40～49歳の世帯 24
- (2) 電子マネーの利用割合が最も高いのは40～49歳の世帯 25

3 世帯主の勤めか自営かの別

- (1) 電子マネーの保有割合が最も高いのは会社などの役員の世帯 26
- (2) 電子マネーの利用割合が最も高いのは会社などの役員の世帯 27

4 年間収入階級別

- (1) 年間収入階級800万円以上の世帯では電子マネーの保有割合は50%を超える 28
- (2) 年間収入階級1000万円以上の世帯では電子マネーの利用割合は50%を超える 29

Ⅳ ポイントカード等の保有・利用状況

1 概要

- (1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは北海道地方 30
- (2) ポイントで交換したもので最も多いのは食品（飲料含む） 31

2 世帯主の年齢階級別

- (1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは40～49歳の世帯 32
- (2) ポイントを交換した金額が最も多いのは30歳未満の世帯 33

3 世帯主の勤めか自営かの別

- (1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは会社などの役員の世帯 34
- (2) ポイントを交換した金額が最も多いのは会社などの役員の世帯 35

4 年間収入階級別

- (1) 年間収入階級500万円以上の世帯ではポイントの保有割合は80%を超える 36
- (2) 年間収入階級2000万円以上の世帯ではポイントを交換した金額は10,000円を超える 37